

Concerto Coro di Meicon

コーロ・ディ・メイコン第32回定期演奏会

G.ヴェルディ作品集

主の祈り Pater Noster

諸国民の賛歌 Inno delle Nazioni

レクイエム 《死者のためのミサ曲》 Messa da Requiem

～小編成オーケストラと2台ピアノ編成による～

ソプラノ 吉田珠代 メゾソプラノ 小泉詠子

テノール 渡辺大 バリトン 町英和

ピアノ 田頭尚子 清水佐和子

オーケストラ 東京室内管弦楽団

指揮/オーケストラ編成/
2台ピアノ編曲 松下裕

2024.9.22(日)

開場 16:40 開演 17:30

調布市グリーンホール大ホール

(京王線「調布」駅「中央口」改札「広場口」出口より徒歩1分)

【全席自由】1,000円(当日券あり)

【チケット取り扱い】

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

teket (テケト) <https://teket.jp/>

調布市プレイガイド? ※ここに連絡先が入ります

【お問い合わせ】

コーロ・ディ・メイコンチケット事務局

meicon.biglietto@gmail.com

コーロ・ディ・メイコンHP

<https://site.google.com/site/corodimeicon/home>

～ヴェルディのレクイエムを演奏するにあたり～

当団コーロ・ディ・メイコンは、当団総監督でオペラ歌手であった故高田作造先生の熱意から創設されました。1991年、明治大学混声合唱団第40回記念定期演奏会で、ヴェルディのレクイエムを学生とOBの合同で演奏しましたが、その際にOBだけで練習をしたことが、OB合唱団設立に向けての一つのステップとなりました。1992年に当団設立後、1999年の第8回定期演奏会で思い出深いヴェルディのレクイエムを演奏しました。第8回という末広がり「8」にあやかり、8年ごとにこの大曲に取り組み、初心を忘れず前に進んでいこうと誓いました。以後、第16回、第24回と回を重ね、このたび第32回定期演奏会で4回目のレクイエムの演奏を迎えます。私達にとってヴェルディのレクイエムは、マイルストーンとも言えます。

今までの演奏形態はピアノ、また2台ピアノと回を重ねる度に工夫をしてきましたが、今回は、私達の一つの夢であったオーケストラを迎えた演奏を企画しました。50名程度の合唱団でオーケストラと共に演奏するために、東京室内管弦楽団様にお力添えをいただき、小編成のオーケストラと2台ピアノという形で演奏することになりました。本来はフルオーケストラの作品であり、その重厚さかつ繊細さはヴェルディのオペラ作品を彷彿とするような醍醐味が魅力です。今回は初の試みとなりますが、その持ち味を失わないよう工夫をしました。日本においても、また世界を見てもなかなか事例がなく大変貴重な演奏となります。どうか、最後までお楽しみいただけましたら幸いです。

最後に、このたびご協力を賜ります東京室内管弦楽団様、ソリスト、そしてピアニストの皆様へ心より御礼申し上げます。そして当団にご理解とご協力を賜ります皆さまに素晴らしい時間を過ごしていただけますよう、団員一同精一杯励み、ご来場をお待ちしております。



松下 裕

オーケストラ編成・2台ピアノ編曲：コーロ・ディ・メイコン常任指揮者

東京室内管弦楽団



新しい「感動」と出会うオーケストラ——

1928年創立。90年に及ぶ伝統と多くの実績をもつ首都・東京の代表的な管弦楽団。

1954年より、故いわくばさをが代表・音楽監督指揮者となり、「求められる演奏活動」を掲げ、クラシックはもとより、独自の編曲による映画音楽、タンゴ・ポップス等を中心とした「ポップスコンサート」など、いち早くとり入れたオーケストラである。

1964年より全国の学校を対象に＜オーケストラ鑑賞教室＞を展開。「教育演奏活動」は以来もっとも力を入れている活動のひとつであり、年間およそ50公演ほど行っている。

自主公演（定期公演）は主に、室内管弦楽団の可能性を様々なアプローチで提唱する「Chamber Music Style」（東京文化会館小ホール・年3公演）、平日の午後、14:30開演「平日マチネ」（サントリーホールブルーローズ・年2公演）、オーケストラによるコンサートを身近に楽しみ、オーケストラの持つ可能性を追求するとともに、個性豊かで魅力溢れる音楽家、ソリスト（共演者）のパフォーマンスに特化した「Luxury Classics」（横浜みなとみらいホール小ホール）をはじめ、0歳から入場可能なコンサート「ぼくとわたしのコンサートデビュー」など、年間7公演～10公演行っており、その温かく伝統に彩られた格調のある音色はジャンルを問わず、様々な方面から高い評価を得ている。

【HP】<http://tco.or.jp/> 【X】<https://x.com/TokyoChambOrch> 【Facebook】<https://www.facebook.com/TOKYOChamberOrchestra/>



田頭尚子 Shoko Tagashira 【ピアニスト】

鹿児島県出身。お茶の水女子大学及び大学院演奏学講座修了。向井ます子、小村素子、遠藤秀一郎の各氏にピアノを師事。東郷和子氏にソルフェージュを師事。第30回日本音楽コンクール入選。第4回、第5回日本ジュニアピアノコンクール優秀賞受賞。オペラ、歌曲、宗教曲、合唱など主に声楽の伴奏者として活躍している。



清水佐和子 Sawako Shimizu 【ピアニスト】

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業。パリエコールフォルマル音楽院にてピアノ高等演奏学科、伴奏科、室内楽演奏家ディプロム（審査員の賛辞付き満場一致の1位）を得て修了、同院の公式伴奏者を務める。全日本学生音楽コンクール中学生の部第1位、ジャンルカ・カンボキア国際コンクール第2位等受賞。コーロ・ディ・メイコン、明治大学混声合唱団の演奏会に出演。現在は声楽、合唱団の伴奏、後進の指導に力を注いでいる。



吉田珠代 Tamayo Yoshida 【ソプラノ】

愛知県立芸術大学、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第6期生修了後、ボローニャ、ミュンヘン、ウィーンに留学。小沢征爾、ファビオ・ルイーゼ、ジョン・ミュンフンやズービン・メータなど世界的指揮者をはじめ国内外の著名なオーケストラと共演し絶対的な信頼を得た。第6回静岡国際オペラコンクール最高位及び三浦環賞、第12回岩城宏之音楽賞を受賞。二期会会員。



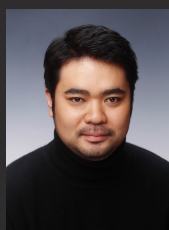
小泉詠子 Eiko Koizumi 【メゾソプラノ】

東京藝術大学大学院博士課程修了、博士号取得。新国立劇場では『魔笛』侍女II、『ボリス・ゴドゥノフ』フォードル、二期会公演では『ノルマ』アダルジーザ等、数多くのオペラに出演する他、宗教曲のソリストも多く務める。2024年7月二期会『蝶々夫人』スズキ、9月『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ役にて出演予定。第15回岩城宏之音楽賞受賞。愛知県立芸術大学、東京学芸大学、東京藝術大学各非常勤講師。二期会会員。



渡辺 大 Dai Watanabe 【テノール】

明治大学混声合唱団を経て東京藝術大学卒業。同大学院修了。在学中より小澤征爾音楽塾に参加。佐渡裕指揮『椿姫』、『フィガロの結婚』、佐藤しのぶ主演『夕鶴』、三枝成彰『KAMIKAZE- 神風 -』、東京シティ・フィル『こうもり』、東フィル『合唱幻想曲』、小林研一郎指揮ヴェルディ『レクイエム』の他、『第九』、『メサイア』、NHKBSクラシック倶楽部、クレモナ音楽祭（伊）に出演。日本声楽家協会教育センター講師。



町 英和 Hidekazu Machi 【バリトン】

国立音楽大学、同大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。文化庁在外派遣研修員としてボローニャ、公益財団法人ロムン・ミュージック・ファンデーションの助成を受けミュンヘンに留学。兵庫県立芸術文化センター、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、セイジ・オザワ松本フェスティバル、小澤征爾音楽塾、新国立劇場、びわ湖ホール、サントリーホールなどのオペラ公演をはじめ、日本の主要プロダクションでの活躍が目覚ましい。その知性豊かな楽曲解釈で好評を博す。